〇概ね5年で実施する取組(実施済を含む)多摩川上流部 資料2-1 〇:実施予定 △:実施中(50%未満) ▲:実施中(50%以上) ●:実施済み 一:予定無し ■:該当なし・対象なし 実施する機関 具体的な取組の柱 地 域 主な内容 課題 目標時期 項 日 立 昭 気 住 Ŧ 東 Ш 村 京 象庁 野市 地 民 具体的取組 市 市 市 市 市 市 市 都 市 整 ド対策の主な取組 ■洪水を河川内で安全に流す対策 ・堤防整備等・河岸侵食防止のための水衝部対 〇必要堤防高、幅が不足する筒所の 引き続き S 整備 ■危機管理型ハード対策 決壊までの時間を少しでも引き延ば すよう堤防構造を工夫する対策とし 〇堤防天端の保護 ・ ・法肩部(堤防斜面上側の角)の崩 引き続き Т 壊の進行を遅らせるための堤防天 端のアスファルト等での保護 ・深掘れの進行を遅らせるための裏 〇堤防裏法尻の補強 法尻のブロック等での補強 ■円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備 引き続き ○河川防災ステーションの整備 ・河川防災ステーション等の整備 ■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備 ・防災行政無線の改良、防災ラジオ ①防災行政無線の改良、防災ラジオ等 の配布、防災無線テレフォンサービス 等の配布、防災行政無線テレフォン サービスの導入、デジタル化、難聴 引き続き G. I 実施 用 の導入 地区の解消等 ・浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備、自家発電 ②浸水時においても災害対応を継続 するための施設の整備及び自家発電 Ω 宝施済み 装置等の耐水化及び上層階への設 ・水防活動を支援するための新素 材・新技術等を含めた水防資機材 ③水防活動を支援するための新素材 引き続き 新技術等を含めた水防資機材等の配 等の配備 O F \cap \circ Λ \circ \circ \cap 実施 ・大規模水害に備えた水防資機材 ④水防団の円滑な水防活動を支援す 水防団の円滑な水防活動を支援す 引き続き るための簡易水位計や量水標、CCTV るための簡易水位計や量水標、 CCTVカメラ等の設置 実施 カメラ等の設置 /フト対策の主な取組 (1)逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 2) ■情報伝達、避難計画等に関する取組 洪水予報等の情報発信(洪水予報 ①住民の避難行動、迅速な水防活動 等)の実施 引き続き を支援するための水位計やライブカメ ラのリアルタイムの情報提供 Δ 水位計の情報やライブカメラの映 像をリアルタイムで提供 チェックリストを活用しタイムライン ②避難勧告の発令に着目したタイムラ 引き続き を作成 CDJI Λ インの作成 ・タイムラインを検証し見直しを実施 ・ロールプレイング等の実践的な訓 ③タイムラインに基づく首長・地域住民 等も参加した実践的な訓練の実施 引き続き 0 0 0 0 0 0 実施 加 ・地域住民を含めた訓練への拡充 避難勧告等発令の対象区域、判断 引き続き ④タイムラインの高度運用の検討 基準等の確認 C, D, J, I 0 Δ 0 0 0 0 Δ Δ ・多機関連携型タイムラインの拡充 ・ハザードマップポータルサイトにお ける水害リスク情報の充実(洪水、 ⑤ハザードマップポータルサイトにおけ 引き続き る水害リスク情報の充実 用 土砂災害、津波等) ⑥想定最大規模降雨による洪水ハ 想定最大規模降雨による洪水を対 活 引き続き 象とした洪水ハザードマップの策定 ザードマップの策定、周知、活用 実施 用 ・想定最大規模降雨に伴う洪水によ る浸水により、市町内避難所数が不 足する場合や避難が市町内避難所 ⑦近隣市と連携した広域避難計画及 引き続き び崖線下の住人の段丘上への避難計 D. E. F 0 0 0 0 0 Δ Δ 0 より他市町の方が適切と思われる場 実施 用 画の作成 合等において、広域避難計画(案) ⑧ダム放流情報を活用した避難体系 ・ダム放流情報を活用した避難体系 引き続き 実施 汪 U. V 0 0 0 0 0 0 0 用 活 引き続き 9応急的な避難場所の確保 ・応急的な退避場所の確保 D 0 0 • 0 0 0 • • Δ 用 ・想定最大規模降雨に伴う洪水によ ⑩要配慮者・外国人等への対応等を 活 D. F. H. 引き続き 考慮した避難計画の検討作成および る要配慮者利用施設への対応等を 0 0 0 0 \cap Δ 0 避難訓練の実施 考慮した避難計画の作成 ·住民一人一人の避難計画・情報 ス ハ プの作成促進 引き続き ⑪マイ・タイムラインの取組推進 C, D 0 0 Δ 加 講習会の実施

引き続き

 \circ $| \bullet | \circ | \bullet | \bullet | \circ | \bullet$

A. D. F

活

用

•

⑫平時から水防災意識の向上を図る

ため、案内板等の整備や雷柱等に想

定浸水深などを標識として表示する「ま

るごとまちごとハザードマップ」の検討

・既設案内板の利活用を検討

・公共施設や電柱を中心に、看板の

〇概ね5年で実施する取組(実施済を含む)多摩川上流部 資料2-1 〇: 実施予定 △:実施中(50%未満) ▲:実施中(50%以上) ●:実施済み -:予定無し ■:該 実施する機関 具体的な取組の柱 地 域 主な内容 課題 目標時期 昭 住 Ŧ 東 Ш 象庁 地 民 具体的取組 市 市 市 市 市 市 市 都 市 整 ソフト対策の主な取組 (1)逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 ■情報伝達、避難計画等に関する取組 ・協議会等の場を活用して、避難時 の声かけや避難誘導等訓練及び出 水時における実際の事例の情報を 共有し、より充実した取組を検討・調 引き続き (13)共助の仕組みの強化 0 0 0 Х Δ Δ ・引き続き、協議会毎に地域包括支援センター・ケアマジャーと連携した水害からの高齢者の避難行動の理 実施 解促進に向けた取組の実施および その状況を共有。 ・不動産関連事業者に対し、引き続き、研修会等で水害リスク情報等に 係る施策の最新情報を説明。 引き続き (4)適切な土地利用の促進 0 0 Δ 警報等における危険度の色分け表 ⑤気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の可能性の提供」を実施 引き続き . 「警報級の現象になる可能性」の情 実施 用 報提供 ・メッシュ情報の充実化 2)ソフト対策の主な取組 (1)逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 ■防災教育や防災知識の普及 ・ハザードマップの見方などの水災 害の事前準備に関する問い合わせ 引き続き 実施 ①水災害の事前準備に関する問い合 活 А, В 用 ・水防災意識社会の再構築のため の説明会・講習会を開催 ②水防災意識社会の再構築のための 0 0 0 0 0 説明会・講習会の開催 実施 加 ・授業を実施する前に担当教員にも水災害の知識を身につけていただく 引き続き ③教員を対象とした講習会の実施 0 0 0 0 A, B 0 0 0 加 ための講習会を実施 ④小学生を対象とした水防災教育の事 ・小学校の総合学習授業の中で、水 引き続き ΔB 0 防災教育の取組の実施 加 出前講座等の要望があれば積極 引き続き 的に参加し、防災知識の普及啓発 活動等の支援を実施 ⑤出前講座等の講習会の実施 実施 加 ・市町村の取り組みを支援する専門 ⑥地域防災力の向上のための人材育 家リストを作成・専門家の派遣 2)ソフト対策の主な取組(2)洪水氾濫被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組 ■水防活動の効率化及び水防体制の強化に向けた取組 無線やメールなどを活用した情報 伝達手段の確保情報伝達訓練等の実施 ①消防団と兼任する水防団への連絡 体制の確認と伝達訓練の実施 引き続き 引き続き 実施 ②消防団と兼任する水防団同士の連 ・近隣の水防団の連絡体制の確保 ③消防団と兼任する水防団や地域住 民が参加する重要水防箇所等の共同 水防団や地域住民が参加する重 引き続き 要水防筒所等の共同点検 加 ④関係機関が連携した水防訓練の実 ・合同水防訓練や水防管理団体が 0 行う訓練への参加 加 ⑤水防活動の担い手となる水防団体 ・広報紙やホームページ等で広く募 引き続き 実施 ⑥重要施設(市町村庁舎・災害拠点病院・危険物取扱工場等)管理者への情 市町村庁舎や災害拠点病院等の 引き続き 施設関係者への情報伝達の充実 Q 0 0 0 Δ 0 報伝達の充実 早期復興を支援する事前の準備 ソフト対策の主な取組 (3)一刻も早い生 活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活 ■排水活動及び施設運用の強化に関する取組 ・排水機場・樋門・水門等の情報共 有、排水手法等の検討を行い、大規 模水害を想定した排水計画(案)を 作成 ①排水機場・樋門・水門等の情報共 引き続き 有、排水手法等の検討を行い、大規模 水害を想定した排水計画(案)を作成 0 0 Λ 0 0 引き続き

引き続き

実施

0

0 0 0 0 0

Δ

R

②排水訓練の実施

③浸水被害軽減地区の指定

排水訓練の実施

洪水浸水想定区域内(隣接・近接 する区域を含み、河川区域を含まない)で、浸水の拡大を抑制する効用

があると認められる輪中提等の盛士 構造物、自然堤防等を指定

資料2-1

△:実施中(50%未満) ▲:実施中(50%以上) ●:実施済み -:予定無し ■:該当なし・対象な 具体的な取組の柱 実施する機関 悶 域 項 主な内容 課題 目標時期 住 田 東 m 中 立 ŝΤ Ш 京都 象庁 谷 地 民 市 区 市 区 具体的取組 市 市 × 整 -ド対策の主な取組 ■洪水を河川内で安全に流す対策 •堤防整備等 〇必要堤防高、幅が不足する箇所の 引き続き ・河岸侵食防止のための水衝部対 П Δ 整備 ■危機管理型ハード対策 決壊までの時間を少しでも引き延ば すよう堤防構造を工夫する対策とし ・法肩部(堤防斜面 F側の角)の崩 引き続き 実施 ○堤防天端の保護 • 壊の進行を遅らせるための堤防天 端のアスファルト等での保護 〇堤防裏法尻の補強 深掘れの進行を遅らせるための裏 法尻のブロック等での補強 ■円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備 引き続き 〇河川防災ステーションの整備 ・河川防災ステーション等の整備 ■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備 ・防災行政無線の改良、防災ラジオ ①防災行政無線の改良、防災ラジオ等 等の配布、防災行政無線テレフォン 引き続き の配布、防災無線テレフォンサービス G. I ービスの導入、デジタル化、難聴 用 ・浸水時においても災害対応を継続 ②浸水時においても災害対応を継続 するための施設の整備、自家発電装置等の耐水化及び上層階への設 するための施設の整備及び自家発電 R 実施済み 装置等の耐水化 ・水防活動を支援するための新素 材・新技術等を含めた水防資機材 ③水防活動を支援するための新素材・ 新技術等を含めた水防資機材の配備 引き続き 実施 等の配備 ・大規模水害に備えた水防資機材 PΩ 0 の拡充 ・消防団と兼任する水防団の円滑な水防活動を支援するための簡易水 ④消防団と兼任する水防団の円滑な 引き続き 水防活動を支援するための簡易水位 位計や量水標、CCTVカメラ等の設 実施 計や量水標、CCTVカメラ等の設置 ソフト対策の主な取組 (1)逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 ■情報伝達、避難計画等に関する取組 洪水予報等の情報発信(洪水予報 ①住民の避難行動、迅速な水防活動 等)の実施 ・水位計の情報やライブカメラの映 引き続き を支援するための水位計やラ ラのリアルタイムの情報提供 Δ Δ 実施 用 像をリアルタイムで提供 チェックリストを活用しタイムライン 引き続き 実施 ②避難勧告の発令に着目したタイムラ C, D, J, I • • ・タイムラインを検証し見直しを実施 ・ロールプレイング等の実践的な訓 ③タイムラインに基づく首長・地域住民 引き続き 練を実施 C. D. J. I Δ Δ 等も参加した実践的な訓練の実施 ・地域住民を含めた訓練への拡充 ・避難勧告等発令の対象区域、判断 引き続き 実施 基準等の確認(水害対応タイムライ ④タイムラインの高度運用の検討 C, D, J, L 0 0 ・ ・多機関連携型タイムラインの拡充 ・ハザードマップポータルサイトにおける水害リスク情報の充実(洪水、 ⑤ハザードマップポータルサイトにおけ 引き続き る水害リスク情報の充実 用 土砂災害、津波等) ⑥想定最大規模降雨による洪水ハ ザードマップの改良、周知、活用 ・想定最大規模降雨による洪水を対象とした洪水ハザードマップの策定 引き続き 実施 活 用 ・想定最大規模洪水による浸水により、市内避難所数が不足する場合や ⑦ 近隣市区と連携した広域避難計画 避難が市内避難所より他市の方が 適切と思われる場合等において、広 域避難計画(案)を作成または都市 引き続き 活 D, E 0 0 用 部における垂直避難の検討 活 ⑧ダム放流情報を活用した避難体系 ・ダム放流情報を活用した避難体系 引き続き 該当 w x Δ ▲ Δ 0 Δ 0 • 用 引き続き 活 9応急的な退避場所の確保 ・応急的な退避場所の確保 Δ • Δ • 実施 用 ⑩要配慮者利用施設への対応等を考慮した避難計画の作成および避難訓 相定最大担模除雨に伴う洪水によ 活 D, E, I, K る要配慮者利用施設への対応等を Δ 実施 用 練の実施 考慮した避難計画の作成 ・住民一人一人の避難計画・情報 マップの作成促進 引き続き ①マイ・タイムラインの取組推進 C. D 実施 'nп 講習会の実施 (2)平時から水防災意識の向上を図る ・既設案内板の利活用を検討 、案内板等の整備や電柱等に想 引き続き 活 公共施設や電柱を中心に、看板の 用 定浸水深などを標識として表示する「まるごとまちごとハザードマップ」の検討 実施 設置を検討

資料2-1

■:該当なし・対

△:実施中(50%未満) ▲:実施中(50%以上) ●:実施済み -:予定無し

具体的な取組の柱 実施する機関 悶 域 項 主な内容 課題 目標時期 住 田 東 m 中 立市 ŝΤ Ш 京都 象庁 谷 地 民 区 市 区 具体的取組 市 市 × 整 ソフト対策の主な取組 (1)逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 ■情報伝達、避難計画等に関する取組 2) ・協議会等の場を活用して、避難時 の声かけや避難誘導等訓練及び出 水時における実際の事例の情報を 共有し、より充実した取組を検討・調 引き続き ③共助の什組みの強化 全。
・引き続き、協議会毎に地域包括支援センター・ケアマジャーと連携した水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた取組の実施および Z Δ 0 0 0 その状況を共有。 ・不動産関連事業者に対し、引き続 き、研修会等で水害リスク情報等に 引き続き (4)適切な土地利用の促進 0 Δ 係る施策の最新情報を説明 ・警報等における危険度の色分け表 ⑤気象情報発信時の「危険度の色分 引き続き ・「警報級の現象になる可能性」の情 В. Н け」や「警報級の可能性の提供」を実施 用 報提供 ・メッシュ情報の充実化 プト対策の主な取組 (1)逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 2) ■防災教育や防災知識の普及 ・ハザードマップの見方などの水災 害の事前準備に関する問い合わせ 窓口の設置 ①水災害の事前準備に関する問い合 わせ窓口の設置 引き続き 活 A, B 実施 用 ②水防災意識社会の再構築のための ・水防災意識社会の再構築のため 引き続き A. B 説明会・講習会の開催 の説明会・識習会の開催 加 ・授業を実施する前に担当教員に# 引き続き 実施 水災害の知識を身につけていただく ための講習会を実施 ③教員を対象とした講習会の実施 А, В 0 Δ 0 0 0 0 0 加 ④小学生を対象とした水防災教育の実 ・小学校の総合学習授業の中で、水 Δ 0 0 0 防災教育の取組の実施 順次実施 加 出前講座等の要望があれば積極 引き続き ⑤出前講座等の講習会の実施 的に参加し、防災知識の普及啓発 A. B 0 'nп 活動等の支援を実施 ・市町村の取り組みを支援する専門 ⑥地域防災力の向上のための人材育 引き続き 家リストを作成 ・専門家の派遣 A B 2)ソフト対策の主な取組 (2)洪水氾濫被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組 ■水防活動の効率化及び水防体制の強化に向けた取組 無線やメールなどを活用した情報 ①消防団と兼任する水防団等への連 絡体制の確認と伝達訓練の実施 引き続き 伝達手段の確保 情報伝達訓練等の実施 ②消防団と兼任する水防団同士の連 引き続き ・近隣の水防団の連絡体制の確保 • • • • 絡体制の確保 ③消防団と兼任する水防団や地域住 水防団や地域住民が参加する重 引き続き 実施 要水防箇所等の共同点検 加 ④関係機関が連携した水防訓練の実 ・合同水防訓練や水防管理団体が 引き続き 行う訓練への参加 ⑤水防活動の担い手となる水防団等 広報紙やホームページ等で広く墓 引き続き N • の募集の促進 ⑥重要施設(市町村庁舎・災害拠点病院・危険物取扱工場等)管理者への情 市町村庁舎も災害拠占病院等の 引き続き 実施 施設関係者への情報伝達の充実 ・早期復興を支援する事前の準備 報伝達の充実 2)ソフト対策の主な取組(3)一刻も早い生 活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組 ■排水活動及び施設運用の強化に関する取組 ・排水機場・樋門・水門等の情報共 ①排水機場・樋門・水門等の情報共 有、排水手法等の検討を行い、大規 引き続き 有、排水手法等の検討を行い、大規模 水害を想定した排水計画(案)を作成 S. T Δ 0 0 模水害を想定した排水計画(案)を 引き続き 実施 ②排水訓練の実施 排水訓練の実施 S. T • 0 ·洪水浸水想定区域内(隣接·近接 する区域を含み、河川区域を含まない)で、浸水の拡大を抑制する効用があると認められる輪中堤等の盛土 引き続き ③浸水被害軽減地区の指定 D Δ 実施 構造物、自然堤防等を指定

	施済を含む)多摩川下流部右 ○:実施	汗 晦/元 予定 Δ:実		 ト満) 』	▲:実施	中(50%	6以上)	●:実	施済み	一:予:	定無し	■:該当	_与 関					
的な取組の柱								実施す	る機関					Τ				
事項	主な内容	課題	目標時期	稲城	横浜	横鶴	横港北	横都浜筑	川崎	東京	神奈川	気象	関東地					
具体的取組				市	市	市区	市区	市区	市	都	県	庁	整整	ı				
一ド対策の主な取組														_				
洪水を河川内で安全に流す対策	L 10 pt +6 th 46		71.565.5										Ι	Т				
○必要堤防高、幅が不足する箇所の基 備	፟፟と しまい と	V	引き続き 実施										_					
 危機管理型ハード対策														_				
○堤防天端の保護 ○堤防裏法尻の補強	決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう堤防構造を工夫する対策として、・法肩部(堤防斜面上側の角)の崩壊の進行を遅らせるための堤防天端のアスファルト等での保護・深掘れの進行を遅らせるための裏法尻のブロック等での補強	w	引き続き 実施										•					
円滑かつ迅速な避難に資する施設	等の整備																	
〇河川防災ステーションの整備	 ・河川防災ステーション等の整備	ь	引き続き															
1995#4 (二重4	マナフ 甘 舩 笠 の 軟 併		実施											L				
選難行動、水防活動、排水活動に ①防災行政無線の改良、防災ラジオ等 の配布等	・防災行政無線の改良、防災ラジオ等	G, I	引き続き 実施	•	•	•	•	0	•									
②浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	・浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備、自家発電装置等 の耐水化及び上層階への設置	S	引き続き 実施		•	•	•		Δ									
③水防活動を支援するための新素材・ 新技術等を含めた水防資機材等の配 備	・水防活動を支援するための新素材・新技術等を含めた水防資機材等の配備 ・大規模水害に備えた水防資機材の拡充	Q, R	引き続き 実施	•	•	•	0	0	•	•	•		•					
④水防団の円滑な水防活動を支援すための簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置		N	引き続き 実施										•					
<mark>フト対策の主な取組(1)逃げ遅れゼ</mark> ■情報伝達、避難計画等に関する取	ロ <mark>に向けた迅速かつ的確な避難行動の</mark>	つための取組	1															
①住民の避難行動、迅速な水防活動を 支援するための水位計やライブカメラの リアルタイムの情報提供	・洪水予報等の情報発信(洪水予報等)	G, I	引き続き 実施						•	Δ			•					
②避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成	・チェックリストを活用しタイムラインを作成 ・タイムラインを検証し見直しを実施	C, D, J, N	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•			•	•					
③タイムラインに基づく首長・地域住民 等も参加した実践的な訓練の実施	・ロールプレイング等の実践的な訓練を 実施 ・地域住民を含めた訓練への拡充	C, D, J, N	引き続き 実施	0	0	•	•	•	0			•	•					
④タイムラインの高度運用の検討	・避難勧告等発令の対象区域、判断基準等の確認(水害対応タイムライン) ・多機関連携型タイムラインの拡充	C, D, J, N	引き続き 実施	0	0	•	•	0	0	•	•	Δ	•					
⑤ハザードマップポータルサイトにおける水害リスク情報の充実	・ハザードマップポータルサイトにおける 水害リスク情報の充実(洪水、土砂災害、津波等)	А	引き続き 実施										•					
⑥想定最大規模降雨による洪水ハザードマップの改良、周知、活用	とした洪水ハザードマップの策定	А	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•									
⑦近隣市区と連携した広域避難計画の 作成及び垂直避難や地下街の検討	・想定最大規模洪水による浸水により、 市内避難所数が不足する場合や避難 が市内避難所より他市の方が適切と思 われる場合等において、広域避難計画 (案)を作成または検討 ・垂直避難や地下街の検討	D, E	引き続き 実施	Δ	0	Δ	0	0	0				0					
®ダム放流情報を活用した避難体系の確立	・ダム放流情報を活用した避難体系の確立	X,Y	引き続き 実施	•				-	0	•	•		•					
③応急的な退避場所の確保	・応急的な退避場所の確保	D	引き続き 実施	•	0	•	•	•	•	•			Δ					
⑪要配慮者・外国人等への対応等を考慮した避難計画の検討および避難訓編 の実施	東 要配慮者や外国人への対応等を考慮した避難計画の作成	D, E, H, I, M	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•									
⑪マイ・タイムラインの取組推進	・住民一人一人の避難計画・情報マップ の作成促進 ・講習会の実施	C, D	引き続き 実施	0	•	•	•	•	•		•		•					
⑦平時から水防災意識の向上を図るが め、案内板等の整備や電柱等に想定 水深などを標識として表示する「まるご とまちごとハザードマップ」の検討	長│・公共施設や電柱を中心に、看板の設	A, D, F, K	引き続き 実施	•	0	•	0	_	•									

		地済を含む)多摩川下流部右 ○: _{実施}		▼ • 実施中(50% #	ミ満)	▲:実施	中(50%	6以上)	●:実	施済み	一:予2	定無し	■:該当	なし・タ	寸象
的な取組	風の柱								実施す	る機関	1				I
事工	項	主な内容	課題	目標時期	稲城	横浜	横鶴	横港北	横都浜筑	川崎	東京	神奈	気象	関東	
具体的	り取組				市	市	市区	市区	市区	市	都	川県	庁	地整	
		に向けた迅速かつ的確な避難行動の	ための取料	<u>A</u>											
有 報伝:	達、避難計画等に関する取組	・協議会等の場を活用して、避難時の声						Ι	l						Τ
③共助	の仕組みの強化	かけや避難誘導等訓練及び出水時に おける実際の事例の情報を共有し、より 充実した取組を検討・調整。 ・引き続き、協議会毎に地域包括支援 センター・ケアマジャーと連携した水害 からの高齢者の避難行動の理解促進 に向けた取組の実施およびその状況を 共有。	а	引き続き 実施	•	•	•	Δ	•	Δ					
14適切	な土地利用の促進	・不動産関連事業者に対し、引き続き、 研修会等で水害リスク情報等に係る施 策の最新情報を説明。	Z	引き続き 実施	0	_	-	•	-	•	•			•	
	情報発信時の「危険度の色分 警報級の可能性の提供」を実施	・警報等における危険度の色分け表示・「警報級の現象になる可能性」の情報 提供 ・メッシュ情報の充実化	В, Н	引き続き 実施									•		
		に向けた迅速かつ的確な避難行動の	ための取締	且											
	育や防災知識の普及	・ハザードマップの見方などの水災害の													Τ
	害の事前準備に関する問い合 口の設置	事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	A, B	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•			•	•	
	災意識社会の再構築のための ・講習会の開催	・水防災意識社会の再構築のための説 明会・講習会の開催	A, B	引き続き 実施	•	区 お て 実施	•	•	•	•		•	•	•	
③教員	を対象とした講習会の実施	・授業を実施する前に担当教員にも水 災害の知識を身につけていただくため の講習会を実施	А, В	引き続き 実施	•	区におて施	•	•	•	•		•	•	•	
④小学施	生を対象とした水防災教育の実	・小学校の総合学習授業の中で、水防 災教育の取組の実施	А, В	引き続き 実施	•	区おて施	•	•	•	•	•	•	•	•	
⑤出前	講座等の講習会の実施	・出前講座等の要望があれば積極的に 参加し、防災知識の普及啓発活動等の 支援を実施	A, B	引き続き 実施	•	実施区がて施工	•	•	•	•	•	•	•	•	
成	防災力の向上のための人材育	・市町村の取り組みを支援する専門家リストを作成 ・専門家の派遣	A, B	引き続き 実施		•	0	0	0	0				•	
	の主な取組 (2)洪水氾濫被害 動の効率化及び水防体制の強	<mark>号の軽減、避難時間の確保のための2</mark> 鱼化に向けた取組	k防活動の	取組											
44	団と兼任する水防団への連絡体 確認と伝達訓練の実施	・無線やメールなどを活用した情報伝達 手段の確保 ・情報伝達訓練等の実施	N	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•					
②消防体制の	団と兼任する水防団同士の連絡 確保	・近隣の水防団の連絡体制の確保	N	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•					
	団と兼任する水防団や地域住民 する重要水防箇所等の共同点	・水防団や地域住民が参加する重要水 防箇所等の共同点検	N	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	
4関係	機関が連携した水防訓練の実施	・合同水防訓練や水防管理団体が行う訓練への参加	O, P	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	
⑤水防 募集の	活動の担い手となる水防団等の 促進	・広報紙やホームページ等で広く募集	0	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•					
院·危险	施設(市町村庁舎・災害拠点病 食物取扱工場等)管理者への情 の充実	・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設 関係者への情報伝達の充実 ・早期復興を支援する事前の準備	S	引き続き 実施	•	•	0	-	-	0				•	
	の主な取組 (3)一刻も早い生動及び施設運用の強化に関す	活再建及び社会経済活動の回復を可	可能とするた	とめの排水活	動の耳	[D組									
①排水 排水手	機場・樋門・水門等の情報共有、	・排水機場・樋門・水門等の情報共有、 排水手法等の検討を行い、大規模水害 を想定した排水計画(案)を作成	T, U	引き続き 実施	0	0	0	0	0	Δ	•	•		•	
②排水	訓練の実施	・排水訓練の実施	T, U	引き続き 実施	0	0	0	0	0	•				•	
3浸水	被害軽減地区の指定	・洪水浸水想定区域内(隣接・近接する 区域を含み、河川区域を含まない)で、 浸水の拡大を抑制する効用があると認 められる輪中堤等の盛土構造物、自然	D	引き続き 実施				_	-	_				Δ	

0	○概ね5年で実施する取組(実施済を含む) 相模川 ○:実施予定 △:実施中(50%未満) ▲:実施中(50%以上) ●:実施済み -:予定無し ■該当なし・対象なし																			
具体的な取組の柱			3.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2			1 (00)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		実施す				100 /	地域は						
		事 項	主な内容	課題	目標時期	平塚	藤沢	茅市ヶ	寒川	大磯	神県奈	気象	関整東	域						
		具体的取組				市	市	崎	町	町	Л	庁		民						
1)		ード対策の主な取組 洪水を河川内で安全に流す対策		•																
	_	〇必要堤防高、幅が不足する箇所の整	・必要堤防高、幅が不足する箇所の	Q	引き続き															
		備 危機管理型ハード対策	整備		実施															
		○機管理学ハート対象	決壊までの時間を少しでも引き延ば すよう堤防構造を工夫する対策とし て、法肩部(堤防斜面上側の角)の崩 壊の進行を遅らせるための堤防天端 のアスファルト等での保護	R	引き続き 実施								•							
		円滑かつ迅速な避難に資する施設等	の整備			I	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		I	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·										
		 ○河川防災ステーションの整備	┃ ┃・河川防災ステーション等の整備	w	引き続き 実施								0							
	_	 避難行動、水防活動、排水活動に資す	 よろ其般等の整備		大心															
	_	①防災行政無線の改良、防災ラジオ等	・防災行政無線の改良、防災ラジオ																	
		の配布、防災無線テレフォンサービス等の導入	等の配布、防災行政無線テレフォン サービスの導入、デジタル化、難聴 地区の解消等	F, J	引き続き 実施	•	•	•	•	•				用用						
		②浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置 等の耐水化	置等の耐水化及び上層階への設置	N	実施済み	•		•	•											
		③水防活動を支援するための新素材・ 新技術等を含めた水防資機材の配備	・水防活動を支援するための新素材・ 新技術等を含めた水防資機材等の 配備 ・大規模水害に備えた水防資機材の 拡充	М	引き続き 実施	•	•	•	•	0	•		•							
		④水防団(消防団)の円滑な水防活動を 支援するための簡易水位計や量水標、 CCTVカメラ等の設置	・水防団の円滑な水防活動を支援するための簡易水位計や量水標、 CCTVカメラ等の設置	J	引き続き 実施								•							
2)		<u>'ト対策の主な取組(1)逃げ遅れゼロ</u> 情報伝達、避難計画等に関する取組	に向けた迅速かつ的確な避難行動	のための	取組															
		①住民の避難行動、迅速な水防活動を 支援するための水位計やライブカメラの リアルタイムの情報提供	・洪水予報等の情報発信(洪水予報等)の実施 ・水位計の情報やライブカメラの映像 をリアルタイムで提供	F, G	引き続き 実施								•	活用						
		②避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成	・チェックリストを活用しタイムラインを 作成 ・タイムラインを検証し見直しを実施	C, D	引き続き 実施	•	•	•	•	•		•	•							
		③タイムラインに基づく首長・地域住民 等も参加した実践的な訓練の実施	・ロールプレイング等の実践的な訓練を実施 ・地域住民を含めた訓練への拡充	C, D	引き続き 実施	•	•	•	0	0		•	•	参 加						
		④タイムラインの高度運用の検討	・避難勧告等発令の対象区域、判断 基準等の確認(水害対応タイムライン) ・多機関連携型タイムラインの拡充	C, D	引き続き 実施	•	0	0	0	0	•	Δ	0							
		⑤ハザードマップポータルサイトにおける水害リスク情報の充実	・ハザードマップポータルサイトにおける水害リスク情報の充実(洪水、土砂災害、津波等)	А	引き続き 実施								•	活用						
		⑥想定最大規模降雨による洪水ハザー ドマップの改良、周知、活用	・想定最大規模降雨による洪水を対象とした洪水ハザードマップの策定	А	引き続き 実施	•	•	•	•	•				活用						
		⑦近隣市町と連携した広域避難計画の 作成	・想定最大規模降雨に伴う洪水による浸水により、市町内避難所数が不足する場合や避難が市町内避難所 より他市町の方が適切と思われる場合等において、広域避難計画(案)を作成	D	引き続き 実施	0	0	•	0	•			0	活用						
		®ダム放流情報を活用した避難体系の確立	・ダム放流情報を活用した避難体系の確立	S,T	引き続き 実施	•	0	0	0	0	•		•	活用						
		⑨応急的な退避場所の確保	・応急的な退避場所の確保	D	引き続き 実施	•	0	0	•	0			Δ	活用						
		⑩要配慮者利用施設への対応等を考慮した避難計画の作成および避難訓練 の実施	・想定最大規模降雨に伴う洪水による要配慮者利用施設への対応等を 考慮した避難計画の作成	D, H, I	引き続き 実施	•	Δ	•	0	Δ				活用						
		⑪マイ・タイムラインの取組推進	・住民一人一人の避難計画・情報 マップの作成促進 ・講習会の実施	C, D	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•		•	参加						
		①平時から水防災意識の向上を図るため、案内板等の整備や電柱等に想定浸水深などを標識として表示する「まるごとまちごとハザードマップ」の検討	・既設案内板の利活用を検討・公共施設や電柱を中心に、看板の設置を検討	A, D, E	引き続き 実施	Δ	0	Δ	0	0				活用						

С	○概ね5年で実施する取組(実施済を含む) 相模川 ○:実施予定 △:実施中(50%未満) ▲:実施中(50%以上) ●:実施済み 一:予定無し □該当なし・対象なし													
Е	/ -	14. F1.40 O. 12	○:実施予定 △:実施	芭中(50%∄ ┃	⊧満) ▲:実施 ┃	実施する機関						□該当	なし・対	i象なし
具体的な取組の柱												=	88	地域
		事 項 [主な内容	課題	目標時期	塚	沢	市ヶ	Л	磯	県奈	気象	整東	住民
0,	<u> </u>	具体的取組		0 + 4 0	Ba é B	市	市	崎	町	町	JII	庁	地	氏
2)		ト対策の主な取組 (1)逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 情報伝達、避難計画等に関する取組												
		⑬共助の仕組みの強化	・協議芸寺の場を活用して、避難時の声かけや避難誘導等訓練及び出水時における実際の事例の情報を共有し、より充実した取組を検討・調整。 ・引き続き、協議会毎に地域包括支援センター・ケアマジャーと連携した水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた取組の実施およびその特別を出た。	V	引き続き 実施	Δ	•	Δ	0	0				
		⑭適切な土地利用の促進	・不動産関連事業者に対し、引き続き、研修会等で水害リスク情報等に 係る施策の最新情報を説明。	U	引き続き 実施	•	_	•	•	_			A	
		⑤気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の可能性の提供」を実施	・警報等における危険度の色分け表示・「警報級の現象になる可能性」の情報提供・メッシュ情報の充実化	B, G	引き続き 実施							•		活用
2)		ト対策の主な取組 (1)逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 防災教育や防災知識の普及												
		①水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	・ハザードマップの見方などの水災害 の事前準備に関する問い合わせ窓 口の設置	А, В	引き続き 実施	•	•	•	•	•		•	•	活用
		②水防災意識社会の再構築のための 説明会・講習会の開催	・水防災意識社会の再構築のための説明会・講習会の開催	А, В	引き続き 実施	•	0	•	•	0	•	•	•	参 加
		③教員を対象とした講習会の実施	・授業を実施する前に担当教員にも 水災害の知識を身につけていただく ための講習会を実施	А, В	引き続き 実施	•	•	Δ	0	•	•	•	•	参加
		④小学生を対象とした水防災教育の実施	・小学校の総合学習授業の中で、水防災教育の取組の実施	А, В	引き続き 実施	•	0	Ъ	•	0	•	•	•	参加
		⑤出前講座等の講習会の実施	・出前講座等の要望があれば積極的に参加し、防災知識の普及啓発活動 等の支援を実施	А, В	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•	•	•	参加
		⑥地域防災力の向上のための人材育 成	・市町村の取り組みを支援する専門 家リストを作成 ・専門家の派遣	А, В	引き続き 実施								•	
2)		ト対策の主な取組 (2)氾濫被害の軽 水防活動の効率化及び水防体制の強		活動の取	組									
		①水防団(消防団)への連絡体制の確認と伝達訓練の実施	・無線やメールなどを活用した情報伝達手段の確保 ・情報伝達訓練等の実施	I, J	引き続き 実施	•	•	•	•	•				
		②水防団(消防団)同士の連絡体制の 確保	- 近隣の水防団(消防団)の連絡体制 の確保	I, J	引き続き 実施	•	•	•	•	•				
		③水防団(消防団) や地域住民が参加 する重要水防箇所等の共同点検	・水防団(消防団)等や地域住民が参加する重要水防箇所等の共同点検	J, L	引き続き 実施	•		•	•		•	•	•	参 加
		④関係機関が連携した水防訓練の実施	・合同水防訓練や水防管理団体が行 う訓練への参加	I, K, L	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•	•	•	参 加
		⑤水防活動の担い手となる水防団(消 防団)の募集の促進	・広報紙やホームページ等で広く募集	К	引き続き 実施	•	•	•	•	•				参 加
		⑥重要施設(市町村庁舎・災害拠点病院・危険物取扱工場等)管理者への情報伝達の充実	・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実 ・早期復興を支援する事前の準備	N	引き続き 実施	0	•	0	-	0			•	
2)		- ト対策の主な取組 (3)一刻も早い生 排水活動及び施設運用の強化に関す		可能とす	るための排水	活動σ	取組							
		①排水機場・樋門・水門等の情報共有、 排水手法等の検討を行い、大規模水害 を想定した排水計画(案)を作成	・排水機場・樋門・水門等の情報共 有、排水手法等の検討を行い、大規 模水害を想定した排水計画(案)を作 成	0, P	引き続き 実施	0	0	0	0	0	•		•	
		②排水訓練の実施	・排水訓練の実施	0, P	引き続き 実施	0	A	0	0	0			•	
		③浸水被害軽減地区の指定	・洪水浸水想定区域内(隣接・近接する区域を含み、河川区域を含まない)で、浸水の拡大を抑制する効用があると認められる輪中堤等の盛土構造物、自然堤防等を指定	D	引き続き実施	0	-	-	-	0			Δ	